



# 藤本 みのる 通信

Vol 182

2015年3月24日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 市議会議員定数 1名減へ

議員定数1名削減が最終日に提案され、賛成多数で可決されたことから、6月の市議選から定数が14名となります。独自に取り組むアンケートでも議員定数削減を求めのご意見をいただき、改めて市議会本来の役割を訴える必要があると感じてきました。市議会の現状は決してほめられたものではありませんが、二元代表制の意義は大きなものがあります。そこで議員の意識改革も念頭に、次のような反対討論を行いました。

\* \* \* \* \*

財政悪化、公務員リストラの流れで議員定数削減が議論されていますが、この議論でいくと際限のない削減におちいり、市議会の自殺行為になると思います。定数削減を考えるなら、大前提として、市議会の本来の役割について考えることを提起したいと思います。地方政治でも監視役は欠かせません。メディアはもちろん、市議会の役割は大きい。主権者は市長を選び、市議会議員を選ぶことができます。市議会は市長をリーダーとする行政をチェックします。暴走しないように。これが二元代表制です。

市議会にはチェック機能とともに、住民の声を議会に反映する機能があります。多様な意見と民意が反映できる議員定数が必要です。

《 参考 上野原市 18→16、都留市 18→16、大月市 15→14 》

東京財団「地方自治体のガバナンス研究」(2008年)より

### ●議会の現状について

議会の事実上のオール与党化による行政の追認機関化により、二元代表制によって期待されているはずの効果はほとんど見られない。

議会の多くは、執行権に不当に介入し存在意義を誇示することに注力するあまり、住民の意思を吸い上げて全体の利益を実現しようという姿勢にかけている。

## 【藤本みのる活動日誌】

3月20日(金) 鳥沢小学校卒業式、市議会定例会本会議(閉会日)

3月25日(水) 郡内健康友の会幹事会